

# 香川ニュース

第7号

発行所 自治会  
香川自委 会  
広報委 員

## 市長と市民との市政懇談会

### 要望事項を提出

市長と市民との市政懇談会が十三日午後七時から香川公民館で開かれた。

これは、明年度予算編成に先立って、あらかじめ市民の要望や市政に関する意見をきいて、適切な事項については予算案の中に採りあげ、あるいは今後市政の方向づけに参考にするため、市側の呼びかけで各地区ごとに行われているものである。

市側からは榎木市長、加藤公室長、石橋広報課長ら六名が出席、地元からは亀井自治会長、四町内会長ら役員のほか、一般市民を含め二十五名が参加した。

会議に先立って亀井会長から、



地元の要望に答える市長(写真中央)

その席では、市長は、市民の要望に先立って、あらかじめ市民の要望や市政に関する意見をきいて、適切な事項については予算案の中に採りあげ、あるいは今後市政の方向づけに参考にするため、市側の呼びかけで各地区ごとに行われているものである。市長は、市民の要望に先立って、

- 市に要望した事項
- 一、河川改修と排水施設設置
    - 河川改修
      - 中通一三三番地下より旧小出川に至る区間(約三五〇米)
      - 排水設備
        - (1) 東一七二九一八二六番地に至る区間(約二八〇米)
        - (2) 原二〇一〇一九五〇一八七番地間(約二四〇米)
        - (3) 原二八三二八六一二九〇番地間(約九〇米)
        - (4) 間門七九九一八一四番地間(一五〇米)
    - この他路面滞水、水路不全、護岸不良など要改修箇所四件)
  - 二、道路の新設、改良
    - 間門線の南進延長
  - 三、道路の簡易舗装
    - (1) 主幹線道路(中通地区二線東地区三線、原地区一線)舗装
    - (2) 通学道路(間門地区一線、東地区二線、南地区二線、原地区一線)舗装
    - (3) 現舗装道路の部分改修二線
  - 四、交通安全対策
    - (1) 大山街道の三ヶ所にカーブミラー、安全標識の取付け
    - (2) 西久保変電所北側交差点付近に方向指示板取付け
    - (3) 香川駅周辺に徐行標識取付け
  - 五、公害工場に対する企業調査と現実の被害調査、防止対策
  - 六、自治会負担にかかる借地道路敷を市で買上げ
  - 七、補助金等について
    - (1) 体育振興会に補助増額
    - (2) 防犯灯の白熱灯を蛍光灯に切り替え
    - (3) 間門線一部未買収部分の改修
  - 八、既に陳情案件(左記)の実現促進
    - (1) 香川駅ホーム上屋設置
    - (2) 保育所用地の買収
    - (3) 青少年広場の設置
    - (4) 香川小学校外柵設置

## 青少年広場実現近し

香川地区にも子どもたちが安心して自由のびのびと遊べるような施設がほしいと、かねてから父兄の間で望まれていたが、香川地区青少年育成運動に深い理解をもつ地元土地所有者の協力が幸いにより、青少年広場が実現されようとしており、目下関係者間で正式手続がすすめられつつある。



この場所は、中通り地内の聖恵幼稚園東側に所在し、地元居住の熊沢幸一、岡本豊両氏の所有にかかると、岡本氏の所有に土地で既に整地も終っており、場所柄も格好の地である。いま、市は両所有者との間に貸借契約を進めつつあるので、これが終了次第、公共的施設として、指設置することになる模様で、正式な開設もそんなには遠くないようである。聞くところによると、土地提供の両氏との間には三年間無償の貸借契約とかあ説もあるが、もしこれが事実とすれば、まことに奇特の厚志というほかなく、単に青少年の育成という立場からのみならず、明るい街づくりの上からも全住民的に、感謝の意を表すことも次第である。

## 小学校通学道路

### 新設路線きまる

当自治会が地区内道路整備の一環として「通学道路特別委員会」を設けて推進しつつあった香川小

## 新設香小通学道路計画

(原133~140番地)



が、議会で採択されたのにかんがみ、今夏来実地測量を行っていたが、この程最終的な道路設計書ができ、これを地元関係地主(一人)に提示の上確認を求めた。これに対し地主側は去る十日夜地主会を開催して、市の設計にもとづく路線について検討の結果、全員が原則的に承諾の意向を決定の上回答した。

### 香川チーム総合で四位に

#### 茅ヶ崎地区対抗陸上競技で

茅ヶ崎市教育委員会主催にかか  
る恒例の第十回地区対抗陸上競技  
大会は、十一月一日にスポーツ公  
園競技場で参加地区西浜、鶴峯、  
松林、香川、松浪、梅田、小出、  
東海岸の八チーム、出場選手約三  
百人が参加して、寒風吹くなかで  
盛大に挙行。香川からも男、女二  
十三名の代表が参加した。大会の  
結果は、最多得点の西浜地区が優  
勝したが、香川チームも初の参加  
ながら各選手とも強豪に伍してよ  
く健闘し、各種目にわたって多数  
の上位入賞者を出し、地区別では  
男子第三位、女子は第五位、総合



(写真は健闘した香川陸上チーム)

で第四位という予想以上の好成績  
を収め、団体規模としては、他地  
区に比べ小さい単独チームながら  
スポーツ面でも香川の存在を大き  
くクローズアップさせた。  
当日は地元からは、亀井会長他  
体育愛好家多数を繰りこんで大い  
に声援につとめた。香川としては  
昨年度松林地区から離脱して、初  
の単独チーム編成であり、関係者  
の間では出場選手の選定にはひと  
苦勞があったようだ。しかし種目  
によっては未だ若く将来を嘱望さ  
れる有力なアスリートがたくさん

- 男子の部
- 一、百米 ↑一〇代 友野明 (2位)、坂田均 (2位) ↑二〇代 橋村敏彦 (3位)、川島仁 (3位) ↑三〇代 比留川豊 (2位)
  - 二、四百米 太田金治 (1位)
  - 三、五百米 太田金治 (1位)
  - 四、五千米 横井川良治 (1位) (山崎光明 (2位))
  - 五、二百米競歩 新倉栄一 (2位)
  - 六、走巾跳一〇代 友野明 (1位) 坂田均 (2位)
  - 七、二〇代 川島仁 (3位) (橋村敏彦 (3位)) 三〇代 大房三郎 (1位)
  - 八、砲丸投三〇代 相原時雄 (3位)
  - 九、年令別リレー 六百米 香川チーム (2位) 八百米 香川チーム (3位) スエーデンリレー 香川チーム (3位)
- 女子の部
- 一、六〇米二〇代 山崎恵美子 (2位) 三〇代 杉村節子 (2位) 四〇代 石亀とし子 (1位)
  - 二、百米 一〇代 岩谷智世 (2位) 松井洋子 (3位) 二〇代 山崎恵美子 (2位) 松井洋子 (3位)
  - 三、砲丸投一〇代 松井洋子 (3位)

### あたたかい人情

第一町内会長 橋村 誠

最近、家庭内でも世間でも、子どもたち、若い人達が口癖のように「関係ない」ということをよく聞きます。親は親、自分は自分。めんどう片付け、なるべく自分で分はタツチしまいと、いう考え方のようでも、親に食べさせてもらい、学校に通わせてもらい、なにがなにか関係ない、でもないわけですから、子どもにすれば親としての当然の義務が、いかに多岐にわたります。この「関係ない」の思想は、社会人となつて他人のことはタツチしない、立入って干渉はしない、という事になる。そこまではよいのですが、他人の不幸や迷惑をみて、聞いても知らぬ顔をして冷たい人間となつてきます。これでは世の中も住みにくくな

### 防犯灯増設を申請

過日の市議会で通過した本年度の追加予算によって、新たに防犯灯の増設計画が認められたのに伴い、当自治会としては、現在の設置状況からみて、さらに必要とする場所について、具体的に検討した結果、十四箇所を選定、このほか市官住宅及び甘沼部落との境付近の三箇所については、市で負担維持されるよう意見を付して、十二月十二日に茅ヶ崎市長あて申請書を出した。

### 防犯灯の管理に協力を

このごろ香川地区の防犯灯であちこちに故障したままのものが見られます。防犯灯はみんなのため施設ですから、もし付近の防犯灯で故障している場合は、誰でも気付いた人が香川電機商会(駅西側、電八二一六六四)にその所属組名と場所を直接ご連絡ください。

るわけですが、最近ではこういう人達が非常にふえてきているという事です。他人の危険を見て見ぬふりをしていたという事件は、新聞の記事などによく見かけますが、世の中に人情味がなくなつたとなげく人もあります。一例ですが、以前は向う三軒、両隣のあたりの人情が通いあつたものですが、近頃はこういう風習も少なくなつたといふことでも、自分自身、他人には関係ないと思つていても、末長い人生の旅路には、どんなことでも人のやっかいになるかわかりません。そういう利害計算を抜きにしても一つの地域に住んでいるからには生活共同体としてあたたかい人情の交流があつてこそ楽しい人生も味わえるものではないでしょうか。住むべき香川という土地のために、住民の皆さまから種々のご要望があらましようが、どうか大小にかかわらずお申しつけください。そしてお互いがあたたかい心と心のふれあいによって世のため人のために努力してゆこうではありませんか。

**本を読む習慣と図書館利用のすすめ**  
新聞や雑誌、書籍などいわゆる出版物の多寡が、その国の文化度を示すバロメーターであるとする見方がある。このことはある意味では正しいと思われる。しかし現代はテレビ、調刊誌、マンガなどのように簡易で、内容に乏しい視聴覚からの知識の吸収が多く、もちろんこのような傾向についてはそれなりの理由はあるが、どちらかといえば「考えて読む」ことが非常に少ない時代といわれるのも事実のようである。  
専門書によって知識の度をさらに深める効用はもとより、また一流の作家のものを読むことはその作家と対話をしていくことでもあり、読書には良書を選んでこれをわが身につける心がけが大事な事ではあるまいか。それにしても今日のようなおびただしい刊行物は、人々の中にも、各人の読書欲を満足させるには経済力が伴わないという人もかなり多いのではなからうか。そんな人達のために図書館の利用をおすすめしたい。図書館には館内閲覧と館外貸出の方法があることは大方ご存じの通り。館外貸出の方は一回二冊期間は十日間の個人貸出と、七人以上グループを作つて一セット、五十冊までの本を二ヶ月貸出をうける団体貸出のものがある。これは自治会、婦人会、子供達、企業内の人達などどんなグループでもよい。現在茅ヶ崎市内にはこのようなグループが二十三団体もあるとのことだが、一般に巡回文庫といわれる制度がこれである。  
図書館は普通には蔵書の閲覧、貸出だけの機能と思われがちだが、市民の日常生活の中での疑問や、仕事の上での調べたいことなども、手紙や電話で尋ねることもでき、またいろいろの資料や機器を利用して解決のための相談にもつてくれる筈であるから、精々利用すべきでありましょう。  
また資料を一層充実させるため郷土に關係ある古文書、写真、絵ハガキ等の収集もしているの、手持の方は図書館に知らせてはしてと

( お 買 上 げ 1 0 0 円 毎 に サ ー ビ ス 券 1 枚 進 呈 )

高橋牛乳店	ミヤマ洋品店	八城商店	シヨコーストア	みやしろ商店	鈴木薬局	熊沢屋酒店	香川電機	坪田輪店	大野屋菓子店	宮代肉店	魚賢	よしみや	中華一番	香川クリーニング	高木薬局
-------	--------	------	---------	--------	------	-------	------	------	--------	------	----	------	------	----------	------

### 老人の住まいを 考える

先日、私の先輩から次のような転居通知が届いた。却説 私共夫妻は離京以来、西宮市(長男と同居)で一年、金沢市(三男と同居)で一年半を過し、此度姫路市(二男と同居)に転居しましたから何卒御承知下さい。

養育家族と生産家族との分離を原則とする近代家族では、老人の問題が、若夫婦の独立の問題の裏となつて出てきます。

扶養の義務は誰に  
すべての子供が結婚した後に、年老いた老夫婦だけ残されることになり、近代家族の扶養の義務は、家長家族のように、財産を相続した長男にだけあるのではなく、すべての子にあることになっていきます。しかし、すべての子供にあるということは、誰にもないことと同じだということになります。

一つの家族としてみれば、近代家族はきわめて弱体な家族です。夫が年若く死亡した場合など、家長家族ならば、未亡人とその子

### ブルブル七.五.三 (諏訪神社前)



老人の住む場所はどこに  
若夫婦が、夫か妻のどちらかの親たちのなるべく近くに住むという希望は、望ましいことです。よく

供は、なんとかめんどうをみてもらえました。近代家族には、これほどの保障はなく、わずかに社会保障の制度で、社会全体の安全度を増すことによって、近代家族の弱さがおこなわれるのです。

（老人は老人ホームへ）というのも一つの考え方です。これからの老人は、いたずらに子供に頼ることなく、自分の一生を自分で生きぬくことが要求されることになりましょう。現状では、収入の少ない若夫婦が元氣な老人に頼り、両親の方は老後の扶養をあてにして若夫婦を助けるというなれあいの形が成立しているが、その結果「勘定あって銭足らず」と歎くのは、これからの老人の方とまっています。これは、近代家族の構造にふさわしい人間関係をつくりだすことはできないであろう。

十一月十五日九時から諏訪神社で恒例の七五三のお祝の儀式が行われた。当日は冷え込みの上、あいにくの天気、雨にたたられ折角の晴れ着も汚しはしまいかと親も心配そう。全く恨めしい冷雨だった。何万も出る晴れ着の裾をからけたり、片手に娘を抱き片手にカサといったスタイルが続出した。「無事にこの子が育ちますように」と。と拝殿に上って神官の祈禱を受けたが、いずまいを正して坐る幼児たちも、神妙な顔つきで「よい子になりませう」と心の中で誓っているようだった。女の子の晴れ着も今年はいちだんと派手やかになった感じだ。千歳あめをしっかりにぎりしめた末来の花嫁、花婿さんたちも、寒さにブルブル

いわれているが、イギリスでは歩いてスーパのさめないほどの距離に住むことが一つの理想とされているとのことです。

老夫婦が二人とも健康ならちともなく、どちらかが死亡して一人となつた場合、子供の一人が自分の住まいに引きとって一緒に暮らすということも必要になるでしょう。これは親がかりの同居とはちがって、老人をふくんだ近代家族といえる。

この場合に、どういう子供のところへ老人がいけばよいかということが問題です。ふつうは最も年長で、経済力のある長男のところへいく場合が多いようです。しかし、老人が女である場合には、娘のところへいくことも一つの方法で、お互いに気心も知り合って遠慮もなく、家庭の中で衝突は少ないでしょう。

冒頭の先輩老夫婦の場合、男の子もさん三人それぞれ既に立派な社会人として独立されており、みなながら良い子持とらやまれているが、果して御夫妻の心境はどうだろうか。こんどの転居通知をみて、これらの老人問題をつくづく考えさせられた次第である。

いじわる、いたずらは  
は追放しよう。  
「明るく住みよい街づくり」のため香川の皆さんに平素何かと協力をお願いしていますが、この香川にも最近あちこちで、庭の盆栽が盗まれたとか、丹精した鉢の花をやられたとかの音が聞かれますがたいへん残念なことです。一時のでき心ある言葉はありますがこんな悪意あるいじわるや不心得は香川の町からぜひ追放しましょう

### 寄付報告

金貳千円也  
間門八組 笛木百太郎さんより  
治会に寄付をいただきました  
お礼をかねて報告します

### 歩行運動茅ヶ崎大会盛況



この日は絶好の秋日和に恵まれ市内は勿論、平塚、秦野、遠くは小田原その他県下各地からも続々とバスで集合地の女子美大付属幼稚園に乗り込み、参加人数約二千

体力づくり歩行運動、神奈川県推進の茅ヶ崎大会は、去る十一月八日、市北部山根地区で盛大に挙行され、香川地区からも愛好者四十数人が参加した。

人に上る大集会となった。四、五才のこどもの手をひく家族づれから最年長者八十八才という老人まで何れも健脚自慢の人ばかり。出発前に主催者側のあいさつ、激励をうけ軽い補助運動の後十時出発。コースは全行程六・五軒、途中山あり坂ありで都座を離れた快適のコース、延々長蛇の列で途中落伍や事故もなく全員が全行程を踏破して正后前に帰着点に到着、正后解散したことがまことに意義ある行事であった。

願わくば単に一日、大会だけのものとせず平素各人の日課の一部にとり入れて継続実行してこそ心身の鍛錬に効果がみられるのであるから大いに多数の方にもおすすしめしたい。

### 整理のコツ六ヶ条

マイホームでの快適で合理的な生活は、整理のゆき届いた住まいから。しかし、生活物資はちよつと油断していると家中にのさばり出して、私達を圧迫しはじめます。どうすれば整理整頓が行き届くか考えてみましょう。

- ①整理の第一歩は買物から。モ目についたものを無計画に買いこむと住まいの中を混乱させます。
- ②捨て上手になりましょう。いらぬものを捨てるにためらわず、必要なものを捨てるにためらわず。
- ③同じ目的で使うものは一か所にまとめます。たとえば、裁縫に必要な裁縫箱、裁ち台、アイロン、アイロン台等一か所にまとめて置く習慣が必要。
- ④あるべきところにあるように。その部屋で使いたいものは、必ずそこに置くように置き、場所をきめておきます。
- ⑤押入れや戸棚の棚板などを増設して、しまつてあるものが重ならずひと目で見えるように。
- ⑥整理しやすい道具を利用する。「押入れたんす」などはその例。

### 料理メモ

○串揚げに向く  
魚一般的に肉は身が柔らかく、赤身はまずい。肉一般的に肉は柔らかいところがよいので縦すじの肉は噛みきれないから避けること。野菜は葉物を避けなければ、何でもほとんど使えます。

### 蒸し物のコツ

蒸し器の中の温度は途中で変えないよう、一定の温度で、一気に蒸し上げるようにしたいもの。蒸している最中に、蒸し気の湯が足りなくなるときは、水でなく、必ず熱湯を追加することです。

お買物は香川商興会加盟店へ

丸徳商店	川口屋支店	内田履物店	三河屋菓子店	金子薬局	小坪屋米店	イサミヤ酒店	山口屋食品店	田中文具店	板倉金物店	カバヤ寝具店	香川屋菓子店	西野酒店	カンナ糸店	尾島酒店	香川プロパン
------	-------	-------	--------	------	-------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	------	-------	------	--------

文学 散歩

平塚の巻 (2)

村井公園の弦斎庵

伊 東 信 子

平塚駅南口に降り、正面中央の広い通路を海の方へ歩くと、右側に大きな河野洋平氏宅がある。その西隣の松林が村井公園で、園内には弦斎庵と呼んだ萱葺の家があったが、四十三年春、留守居のいぬ間に遠い国道沿いの火事の飛火を受けて惜しくも全焼してしま

弦斎は文久三年(一八六三)三河国吉田藩土村井清の長男として生れた。慶応三年家族と共に移住して、明治に入って東京外語学校に入り、苦学力行、後志を立てて渡来、サンフランシスコ、オークランドなどに遊学、帰朝後は報知新聞社長矢野竜溪の知遇を得てその客員となり、かたわら文学を早大の前身である東京専門学校にも学んだ。報知新聞紙上に処女作「小説家」を発表し、ついで小説数篇をものし文壇に認められた。以後明治末期から大正初期にかけて「食道楽」「阿古屋」「花」など数多の著作を発表した。小田原在



写真は 村井弦斎「食道楽」の碑

住約二年の後、一家をあげて平塚に住み、明治三十七年に一万六千四百余坪の土地を所有した。当時この砂丘一帯は松原つづきで、こゝからは富士もよく見え、紺青の相模灘が望めたので「潮見台」と呼び、住居を対岳楼と名づけ、広い庭内には桃その他の果樹を植え、薬草や野菜を作り、蔬菜園を設け、山羊小屋、鶏舎等を置いて自給自足し、その風光や野の味を楽しみながら「食道楽」その他の作品を物し、東都の文人墨客をしばしば自邸に招いて清談を試み、悠々自適の後、昭和二年(一九二七)六十五才を以ってこの地に没した。

この中に在り。平塚対岳楼において 弦斎は、なお内助の功高かった多嘉子夫人は、主人の遺墨を守り、八十一才の高令を以って、昭和三十七年に逝去された。現在地は昭和三十年「村井公園」と命名され、戸川前市長により「対岳楼」は「弦斎庵」と改められた。

日本語の故郷

新 倉 清

私は子供の頃に「女なくては世の開けぬ国」という詞を耳にしたことがある。無論それが詞の意義通りに使われたのではないことはいうまでもない。それはともあれ、上代の日本では、女性の評価が高かったこととは「古事記」や詞の節々から否定できない事実のようである。当時日本人は、太陽のことを「日」(は)とよび、宇宙の生みの祖として崇めたようである。地球の三分の二を占める海の名にこの「日」を移し、それがひいては、其の名が女の謂であったことからも推察できる。

同時にこの「日」が日本語の根幹となつて今日の発達をみたともいえる。日本語の歴史を考えると、飛鳥頃までは上代語もまだ生きていたように思われ、平安時代には老衰の一途をたどったのではないかと、それはあたかも現代の如く明治が古典になつたように移り変わってきたように思われる。現段階では古語の究明は、現代から上代へ進むより方法がないが、その道すらまだ開いてはいない。厚い壁が手を抜けて通せんぼ

うをしているのである。柳田国男先生も「地名考は文字を考へてはいけない。だから、どんな字かと訊くことは禁忌である」と述べておられる。私も何時かこれが先入感となつて、私に何かがつき、その泥沼から這い出ようとしたが、何と禁裏にしていた文字だから、何と驚いたのである。河が流れることによつて、何時までもその新鮮さを失なわぬように人もまた一つ処に停滞をしていては、おしまいである。伝統は人間の歴史だが、常に新しい精力を注入しないと、かびが生える。こうして文字から進んでみると、数年がかりで築いた城も一瞬の中に崩れてしまったが、その後には、それら地名辞典という台木があったればこそと、かたかく信じている。

「うみ」は「宇美」に替える。「宇」の訓みは「いえ」となる。「い」は「比」の転、「え」は「江」となる。「美」は「美しい音は「び」である。従つて「海」は「日」から生れ変わった名詞であることが解る。更に「比」は「海」となる。「く」は「火」で、「保」下の「比」の原音は「保」だから「比」の原音は「母」の意となる。「保」から出た「美しい」は英語の「比字知不留」に当る。「は」を「あ」に替えると「あし」になる。

香川の中通りの今埋め立てられて団地になつていゝ地形の耕地を「しら」といつたのである。「古事記」の「天の御柱」にみたとある。「しら」は佐世保である。見立ては仮の意だから本立は今の鹿島市(有明海)である。上代に「こ」を「原」といつたので、宇州の久之比は、加之波であったから、美しいの詞は、この建国の記念に生れた詞である。考えられる。此の鹿島の古名を「しら」と

国生の通州、栗国、越国、此の国山岐(大和と同義)等がある。天照大神が伊弉那美命であつた頃伊弉那命(後の天御中主神)と協力されて、始めて水田経営を始めた。由緒深い地である。この美が転じて御となり、敬称となつたのも此の故と思われる。次に母の音は「仁与又は知与」何れも水田の謂で訓の「遠光奈」もまた水田である。

「武須女」の訓みは、「武」が「たけ」であるので、これは二次水田といえる。「武」は「尤」から出た詞で、発音になると「高」となる。「高い」の詞が生れたように、「遠光奈」が「海岸」なるとして、陸上の同型の地名として生れたものである。高田、岡田などが、さしあたり「武須女」の方の水田である。「海」からは、初(うひ)、烏帽子(えぼし)、姥(うば)浮気烏羽玉の詞が生れている。水田は米を生む波良、原の意で、女が当てられたのであろう。

女人国日本の詞は、農業国日本の謂であるとともに、女の作用を讃えた名のようなものである。

「茅花会」

十一月投句集

- 大樹ありて千の梢に秋の声 藤村 球子
- 声かけし人誰やらむ秋桜 間庭 蘇山
- 鶏頭の長き命をうとまざる 沓沢 みや
- 幾とせ晴れの定めや文化の日 飯田 清流
- 老いを知る朝の鏡に秋は行く 受賞者の並ぶ朝刊文化の日
- 文化の目色紙に走る翁の筆 柳田ふじ子
- 晩秋の夕畑夫の大きくさめ
- 鶏頭の赤さに心励まされ 公害を恐るるもあり文化の日 新倉 一楽
- 山寺の葉葉かく日や秋深し 黒い種かくして笑顔鳳仙花 大胡 悦子
- 菊かおる野点ゆかしき文化の日 晩秋にカンナの花も枯れ果て 酒井なを江
- 絵筆もつ子に晩秋の空澄みて すねし子を追へば目にしむ葉鶏頭 柳田 柳香
- 芒野の風に追はるるもの白く 晩秋や心の隅の一行詩 斎藤 ハツ
- 鶏頭の紅さに遠いうそ恥ずる 落鮎の流るる見たり晩秋の夕 井上 喜枝
- あけびの実はせて笑うか二重あご 晩秋や鳥鳴き急げと帰り道 碓 百合子
- 日昏れて晩秋の海息ひそむ 鶏頭に燃ゆる齡を越えにけり 長島 久江
- 子等遠出パートに昏るる文化の日 まばらなる客晩秋の山の駅 木村 夢峯
- 行く秋や人影もなく稲架昏るる 文化賞受くる人あり此の佳き日 長崎 成美
- 大熊手頭上に高く人を縫い 病床の見舞に黄菊白菊を 亀井 湘南
- 兄米寿われ喜寿祝がむ秋桜 孫の知恵老流涕す文化の日 生涯のあれこれの夢夜の長き 寝そびれの午前二時告ぐ夜長かな 病窓にて 今更に秋晴れの富士見なおせり

カネボウ・レブロン・マックスファクター・ヘレナルピンスタイン

おしゅれの店



茅ヶ崎店 茅ヶ崎駅北口 丸岡ビル一階 (82)2431  
横浜店 横浜駅ビル二階・本店 横浜西口ダイヤモンド地下街